

食と農

地域を語る



紙 農業をめぐる状況は大変なのに、農民連の人たちは元気ですね。

もの作ってこそ

佐藤 ものを作っているから元気なんです。「ものを作ってこそ農民」が私たちの合言葉です。

品目横断対策の実施で、農業や集落はどうなるのか不安が広がっています。私たちは、農民が農地と作物を作る技術を手放さず、消費者と交流して農産物を販売する努力をすれば、必ず展望は開けると激励しています。

紙 そうですね。食料を生産する農業は、すばらしい仕事です。がんばってほしいですね。

佐藤 紙さんも元気でですね。BSE（牛海綿状脳症）問題では、アメリカで精力的な調査をして、参院予算委員会で質問されました。紙事務所から出た「ブン コンパライアンス・レコード 日本向け米国食肉処理施設におけるBSE違反記録」（合同出版）は、米国产牛肉処理の実態を明らかにした衝撃の本で、「よくぞやってくれた」と拍手喝さいしました。

政党選択

紙 昨年一月、輸入再開されたばかりの米国产牛肉から、危険部位の脊椎（せきつい）が見つかりました。それで二月にアメリカに飛び、私の秘書と現地の赤旗記者と協力して、危険部位が混入した牛肉を輸出した会社や全米連邦獣医官協会、米農務省などをまわり調査をしました。その中でBSE対策に違反した食

肉処理がされている資料を入手したのです。佐藤 すごい資料です。危なくて米国产牛肉は食べられないな。

紙 韓国でも輸入条件に合わない牛肉が混入していて米国产牛肉が輸入中止になっています。安全性に問題がある外国の農畜産物を増やすのではなく、安全で安心な食料生産を応援する農政

を早く実現しなければなりません。日本共産党は、安全な食料を安定的に供給するため、食料自給率を早急に50%台に回復し、60%をめざす提案をしています。



佐藤長右衛門さん

夢と希望の運動

佐藤 今、農業生産を回復させる、いろんな運動が始まっています。秋田県では耕作放棄地に菜



紙智子議員

建設されます。紙 夢と希望が広がる運動ですね。人ひとの努力に応える政治を早くつくりたい。参院選挙は、そのチャンスですね。

佐藤 私は、今度の参院選挙を日本国憲法と「食糧主権」、農業、農村の将来がかかった選挙だと考えています。紙さんの再選はもちろん、共産党の大きな前進のため、力を出しきる覚悟です。

農村では、あまりにひどい自民、公明の安倍政権に、「今度は民主党にしよう」という声がかつています。しかし、農産物の輸入自由化推進は自民党、公明党だけではありません。民主党も完全自由化の立場です。政党の選択を誤らず、しっかりと見極めてほしいと話をしているんです。

候補者として全力で 農業と憲法の将来が 佐藤

紙

紙 激励、ありがとうございます。日本共産党の候補者の一人として、選挙勝利のため力を尽くしたいと思っています。

参議院議員 紙 智子さん
秋田県 農民連委員長 佐藤長右衛門さん